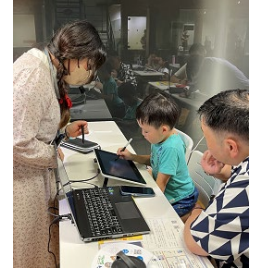
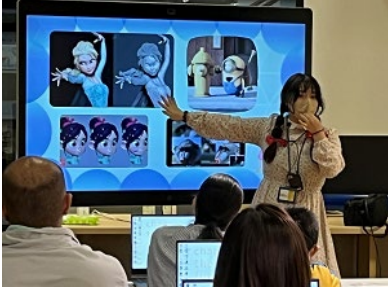


みらいのおねんど特別教室「デジタルねんどで3D作品を作ろう」（2023年7月）」実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
<精華町・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2023年7月30日（日曜日）
午前10時～12時 ・ 午後2時～4時
- 【開催場所】 SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 【開催趣旨】 3DCGを通じたSTEAM教育と本格CG制作体験。
ゲームや映画で見ているCGがどういうものかを学び、CGを使ったモノづくりを体験することで、物事の捉え方や考え方の視野を広げる。
※STEAM教育とは
Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、
Art（芸術・教養）、Mathematics（数学）の5つの要素を盛り込んだ
教育手法で、知識や技能を学ぶだけではなく、それらを活用して問題を
解決したり、新しい価値を創造する総合的な学び。
- 【講師】 SonoSaki 戸田 かえで ・ 戸田 勝也
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学生（保護者同伴）
- 【参加者】 20組（午前・午後 各10組）
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町立小学校
チラシ配架：精華町役場・図書館
その他：精華町・K-Scanホームページ、精華町観光Instagram
- 【内容】 ① CG作成ツール「ZBrushcoremini」を使ってペンタブレットでCG制作。
② ①で作ったオリジナルCG作品に色塗り。
③ 色塗りが出来たら、特にこだわった部分を中心にみんなの前で発表。
④ ゲームや映画に使用されているCGとはどういうものかや、またSTEAM教育を通じて、自ら考え行動する必要性を学ぶ
⑤ 後日、スマートフォンから飛び出す「ARキーホルダー」にして講師から送付。

CGとはどういうものか、アプリの使い方の説明に、みんな真剣なまなざしです。



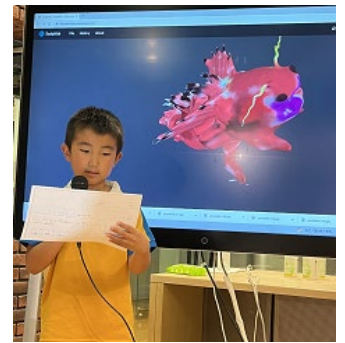
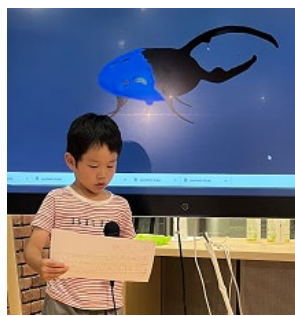
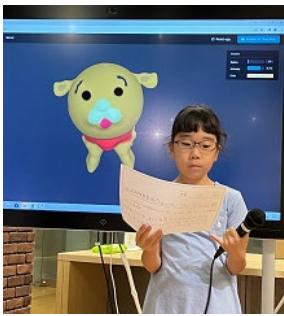
ペンタブレットでCG作成ツール「ZBrushcoremini」を使って思い思いにCG制作



CG作品に色を塗り、オリジナル作品の出来上がり



工夫したところやこだわりをみんなの前で発表



AR写真撮影



3Dプリンター
の実演と3D
モニター体験



【アンケート結果】

「みらいのおねんど特別教室」はどうでしたか？ (数字は人数)

- | | | | |
|-----|--------------|-------------|------------|
| ①作業 | ・簡単すぎた | ・ちょうどよかった ⑦ | ・むずかしかった ⑬ |
| ②説明 | ・わかりやすかった ⑱ | ・わかりにくかった ② | |
| ③時間 | ・時間が足りなかった ⑨ | ・ちょうどよかった ⑪ | ・時間が余った |

ワークショップ全体を通じて、どうでしたか？

- ・楽しかった ⑱ ・少し楽しくなかった ① ・その他 (無回答)

その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

- ・ぜひこのような機会の開催を継続していただきたいです。
- ・良い体験ができて良かったです。
- ・参加できて良かったです。子供は習得するのが早いなと実感しました。
- ・子供もとても楽しかったようです、発表も良い経験ができました。
- ・とても魅力的なワークショップで、子供の興味や好奇心を沸かせるものでした。これからもこのような機会があればぜひとも参加したいです。
- ・スタッフの方々がおのれがものすごく優しく、一緒に作る事ができない妹2人のためにテーブルをわざわざ出してくださったり折り紙を準備してくださったり、とても助かりました。本当にありがとうございました。

今回のイベントのように精華町では、みらいを担う子どもたちに、学研都市にふさわしい学びの機会を提供する「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの取り組みを行っています。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ・良い取り組みだと思う ⑱ | ・学研都市にふさわしい ⑤ |
| ・今後も継続してほしい ⑬ | ・精華町の子どもたちは恵まれていると思う ④ |
| ・このプロジェクトを知っていた ① | ・このプロジェクトを知らなかった ⑧ |